



検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして試薬販売中止に伴い、測定試薬を変更致します。

従来の試薬に関してはToxinAの検出用試薬でしたが、新試薬につきましてはToxinAおよびToxinBの検出用試薬になります。

この変更に伴い、測定方法を変更させていただきます。

なお、基準値、依頼コード、検体必要量等の変更はございません。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白



項目名

クロストリジウム・ディフィシル毒素

(依頼コードNo.8606)

変更日 2009年2月2日(月)受付分より

	新	従来
測定方法	イムノクロマトグラフィー法	ELFA法

新試薬と従来試薬の相関図

		従来試薬		
		陽性	陰性	計
新試薬	陽性	47	3	50
	陰性	1	54	55
計		48	57	105

検討例数 n=105 全体一致率 96.2% (101例/105例)

(メーカー資料)

[測定方法参考文献]

仲宗根 勇 他：臨床微生物迅速診断研究会誌 18, 109~116, 2007